

【参考文献及び資料】

- 麻生良文 1995「公的年金の世代間移転」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第31巻3号) 東京大学出版会、135-141頁
- 阿藤誠 1984「出生率低下の原因と今後の見通し」厚生省人口問題研究所『人口問題研究』(第171号)、22-35頁
- 阿藤誠・兼清弘之編 1997『人口変動と家族』大明堂
- 天田城介 1998. 11. 25「在日コリアン高齢者の老いとケアの構築」(ふれあい館講演資料)
- 天野正子 2000. 12「<まなざし>にみる老いの日本近代」歴史科学協議会編『歴史評論』(No. 608) 校倉書房
- 有吉佐和子 1982『恍惚の人』新潮社
- 有吉佐和子・宮内淳子編解説 2000『作家の自伝 109 有吉佐和子』日本図書センター
- 井岡勉 1986「福祉運動の課題」『ジュリスト増刊総合特集 転換期の福祉問題』有斐閣、125-130頁
- 石坂浩一 1999「川崎の在日韓国・朝鮮人」川崎在日韓国・朝鮮人の生活と声調査部会『川崎在日韓国・朝鮮人の生活と声』青丘社、7-17頁
- 石坂浩一・竹内理恵 1997『在日朝鮮人と「赤ひげ」群像』(株)リベルタ出版
- 一番ヶ瀬康子 1984「買出し」朝日ジャーナル編『女の戦後史 I 昭和 20 年代』、11-18頁
— 1986「社会福祉論の現段階」『ジュリスト増刊総合特集 転換期の福祉問題』有斐閣、14-19頁
- 伊藤整・武田泰淳・三島由紀夫 1956. 11「新人賞選後評『楢山節考』」『中央公論』、201-207頁
- 伊藤達也 1984「年齢構造の変化と家族制度からみた戦後の人口移動の推移」厚生省人口問題研究所『人口問題研究』(第172号)、24-38頁
- 稲葉昭英 2002「基本属性」『高齢者の生活と意識第5回国際比較調査結果報告書』内閣府、53-61頁
- 井上輝子 1985「戦後女性史略年表」『ジュリスト増刊総合特集 女性の現在と未来』有斐閣、284-303頁
- 井上真理子 1995『「ファミリーズム」論』井上真理子・大村英明編 1995『ファミリーズムの再発見』世界思想社、3-23頁
- 井堀利宏 1998「税制構造における年金課税の意義と効果」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第34巻2号) 東京大学出版会、143-154頁
- 上野千鶴子 1982「解説主婦の戦後史」『主婦論争を読む I』勁草書房、221-241頁
— 1988『女遊び』学陽書店
— 1996「セクシュアリティの社会学・序説」井上俊ほか編『岩波講座現代社会学 セクシ

- ユアリティの社会学』岩波書店
- 1998「出生率の低下：誰の問題か？」『人口問題研究』（第54号）、41-62頁
 - 2000「老人介護文学の誕生」『上野千鶴子が文学を社会学する』朝日新聞社
- 殷宗基 1986『在日韓国朝鮮人の生活と人権』同成社
- エイジング総合研究センター編 1993『高齢化社会基礎資料年鑑 1994年版』
- 大沼保昭ほか 1985「《座談会》人権論における定住外国人」法律時報編集部『法律時報』（第57巻5号）日本評論社、8-20頁
- 大沼保昭・徐龍達編 1986『在日韓国・朝鮮人と人権』有斐閣
- 大町公 2000「<ボケ>る前に—佐江衆—『黄落』の提起したもの—」奈良大学総合研究所『奈良大学紀要』（第28号）、19-35頁。
- 大原健士郎・三浦文夫編 1974『老人問題』（現代のエスプリ第87号）至文堂
- 岡崎陽一 1997「人口構造と社会保障」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』（第32巻4号）東京大学出版会、408-415頁
- 岡本裕三 1995「21世紀の介護システムをめざして」『社会保険旬報』（No. 1860）社会保険研究所
- 小川政亮 1964『家族・国籍・社会保障』勁草書房
- 1985「在日外国人の社会保障法制上の状況」法律時報編集部『法律時報』（第57巻5号）日本評論社、43-55頁
- 岡村益 1973「農村における老親扶養と隠居制」『老人家族の社会学 老人扶養の研究』垣内出版、101-168頁。
- 沖藤典子 1979『女が職場を去る日』新潮社
- 落合恵美子 1993「家族の社会的ネットワークと人口学的世代—60年代と80年代の比較から—」『21世紀日本のネオ・コミュニティ』東京大学出版会、101-130頁
- 1997『21世紀家族へ』（新版）有斐閣
- 科学技術庁編 1967『1967年版 科学技術白書—科学技術と経済社会—』
- 柏木哲夫 1987『生と死を支える』朝日選書
- 春日キスヨ 1995「介護とジェンダー」井上輝子・江原由美子・上野千鶴子・天野正子編『性役割』岩波書店、98-111頁
- 春日キスヨ 1997「介護—愛の労働—」井上俊ほか編『岩波講座現代社会学 成熟と老いの社会学』、179-196頁
- 神奈川県自治総合研究センター1983『神奈川の韓国朝鮮人』
- 神奈川のなかの朝鮮編集委員会 1998『神奈川のなかの朝鮮』明石書店
- 金子善彦 1987『老人虐待』星和書店
- 川崎市地域日本語教育推進委員会 1997『共生のまちづくりをめざす日本語学習のあり方～川崎

市地域日本語教育推進事業報告書～』

川崎末美 1996 「高齢者の自殺要因に関する社会・文化的考察—沖縄と岩手の調査を通して—」

家族問題研究会『家族研究年報』(No. 21)、88-98 頁

河合克義 1981 『『地域福祉』の展開過程について』『明治学院論叢』(第 316 号) 明治学院大学

韓国保健社会研究院 1998 『1998 年度全国老人生活実態及び福祉欲求調査』

岸田由美 1999 「ことば、読み書きについて」川崎在日韓国・朝鮮人の生活と声調査部会『川崎在日韓国・朝鮮人の生活と声』青丘社、112-120 頁

木村洋子 1985 「公的年金における妻の取り分をめぐって」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第 21 巻 4 号) 東京大学出版会、262-271 頁

教育 50 年史編纂委員会編『教育 50 年史 1948-1998』教育部、1998

金應烈 1983 「在日韓国老人世帯の生活不安」(財)東京都老人総合研究所老年学編纂委員会『社会老年学』(第 17 巻)、67-82 頁

金正根・園田恭一・辛基秀編 1995 『在日韓国・朝鮮人の健康・生活・意識』明石書店

金東勲 1985 「多民族・多文化社会と在日韓国・朝鮮人」『法律時報』(第 57 巻 5 号)、日本評論社、56-68 頁

金恵媛 1997 「日韓両国における高齢者介護の現状考察—ジェンダーの視点から—」(東京外国語大学地域文化研究科修士論文)

— 1999 「韓国の人口高齢化に関する基礎データ」エイジング総合研究センター編『都市の少子高齢化と高齢化社会対策シリーズⅡ 韓国／台湾』、36-40 頁

— 2000 「在日定住外国人の人口高齢化—在日韓国・朝鮮人を中心に—」東京外国語大学大学院『言語・地域文化研究』(第 6 号)、159-181 頁

— 2000 「韓国」総務庁長官官房高齢社会対策室『各国の高齢化の状況と高齢社会対策』、287-340 頁

— 2001 a 「高齢者扶養と親子関係—ジェンダーの視点から—」渡辺秀樹・日本家族社会学会(全国家族調査(NFR)研究会)『現代日本の親子関係—家族生活についての全国調査報告書(NFR98)—』、15-33 頁

— 2001 b 「高齢化社会韓国と女性の労働参加」エイジング総合研究センター『季刊エイジング』(第 19 巻 1 号)、42-47 頁

— 2002a 「日韓比較」内閣府『高齢者の生活と意識 第 5 回国際比較調査結果報告書』、267-278 頁

— 2002b 「戦後日本における『若い』へのまなざしと高齢者扶養—『恍惚の人』から『黄落』まで—」韓国日本文化学会『日本文化学報』(第 14 輯)、217-236 頁

金恵媛・三国恵子 1999 「トラヂの会の現在と将来」川崎在日韓国・朝鮮人の生活と声調査部会『川崎在日韓国・朝鮮人の生活と声』青丘社、124-144 頁

金英達 1998.5 「韓国の新国籍法と二重国籍者の国籍選択について」在日大韓基督教会在日韓国
人問題研究所『RAIK 通信』(第 54 号)、3-10 頁

— 1993 「数字でみる在日朝鮮人の歴史①～⑧」KMJ 研究センター『Sai』(第 8～15 号) (1993
年 9 月～1995 年 6 月号)

訓覇法子 1992 『スウェーデン人はいま幸せか』日本放送出版協会

黒田俊夫 1994 「高齢化社会を支える高齢者群—負から正への役割転換—」エイジング総合研究
センター『季刊エイジング』、52-53 頁

河野稠果 1985 「高齢化社会の人口学的考察」厚生省人口問題研究所『人口問題研究』(第 175
号)、16-30 頁

厚生省 1978 『昭和 53 年版厚生白書』

厚生省 1999 『平成 11 年版厚生白書』

厚生省 2000 『平成 12 年版厚生白書』

樋口恵子監修高齢社会をよくする女性の会 1992 『女・老いをゆたかに』ミネルヴァ書房

国際連合経済社会局 1990 『国際連合世界人口予測データ』(1950～2025) 原書房

小林知子 1999 「川崎市における在日韓国・朝鮮人高齢者の生活史」川崎在日韓国・朝鮮人の生
活と声調査部会『川崎在日韓国・朝鮮人の生活と声』青丘社、34-68 頁

駒井洋編 1997 『新来・定住外国人がわかる事典』明石書店

RAIK (在日韓国問題研究所) 編 1989 『「91 年問題」ソウル・シンポジウム報告集 在日同胞
の現状と将来』財団法人重山育英会付設亜細亜政策研究院

— 『RAIK 通信』(第 41 号～第 61 号、1995.7.30～99.10.15)

在日本大韓国民団中央本部 1997 『韓国民団 50 年の歩み』五月書房

佐江衆一 1995 『黄落』新潮社

— 1999 『老い方の探求』新潮社

— 2000 「さわやかフォーラムいちほら 2000」(2.6 市原市民会館小ホール基調講演『変わり
ゆく家族のあり方』)

(http://www.city.ichihara.chiba.jp/p/i/prism/vol4/p4_3.htm)

嵯峨座晴夫 1993 『エイジングの人間科学』学文社

— 2000 「東アジア諸国の人口高齢化と関連する諸問題」日本老年社会学会『老年社会科
学』(第 22 巻 1 号)、12-18 頁

— 2001 「エイジングの人口学」日本人口学会『人口学研究』(第 29 号)、1-6 頁

坂中秀徳・高宅茂 1991 『改正入管法の解説—新しい出入国管理制度』日本加除出版

佐々木毅ほか編 1991 『戦後史大事典』三省堂

佐藤進ほか 1993 「〈座談会〉高齢社会と在宅ケア」『ジュリスト増刊総合特集 高齢社会と在
宅ケア』有斐閣、2-21 頁

- 真田是 1980「日本型福祉社会と家庭基盤」日本婦人団体連合会編『1980年版婦人白書』草土文化、8-24頁
- 佐和隆光 1984『高度成長—「理念」と政策の同時代史—』日本放送出版協会
- 渋谷敦司「少子化問題の社会的公正家族政策」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』（第34巻4号）東京大学出版会、374-384頁
- 下斗米傑 1974「老人の就労」大原健士郎・三浦文夫編集・解説『老人問題』（現代のエスプリ第87号）至文堂、187-201頁
- 社会保障研究所編 1984「社会保障をめぐる公私の役割」（第18回社会保障研究所シンポジウム）『季刊社会保障研究』（第20巻1号）東京大学出版会、4-39頁
- 庄司洋子 1993「現代家族の介護力—期待・現実・展望」『ジュリスト増刊総合特集 高齢社会と在宅ケア』有斐閣、190-196頁
- 庄谷怜子・中山徹 1997『高齢在日韓国・朝鮮人』御茶の水書房
- 白波瀬佐和子 1999「女性の高学力化と少子化に関する一考察」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』（第34巻4号）東京大学出版会、392-401頁
- 2000「家族内支援と社会保障」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』（第36巻1号）東京大学出版会、122-133頁
- 新村拓 1992『ホスピスと老人介護の歴史』法政大学出版局
- 新村拓 2000.12「歴史における老いと痴ほうと介護」歴史科学協議会編『歴史評論』（No.608）校倉書房、2-15頁
- 杉井潤子 1995「老人虐待をめぐる—老人の「依存」と高齢者の「自立」—」井上真理子・大村英明編『ファミリーズの再発見』世界思想社、131-170頁
- 杉本貴代栄 2001「社会福祉とジェンダー」『社会福祉研究』（第81号）、鉄道弘済会社会福祉部生活科学調査会 1961『老後問題の研究』ドメス出版
- 青丘社 1999「1999年度高齢者・障害者生活支援事業のあらまし」（内部資料）
- 総務省統計局 2002『日本の統計 2002』
- 総務庁 1997『高齢者の生活と意識 第4回国際比較調査結果報告書』
- 1999『高齢者の日常生活に関する意識調査結果』
- 2000『平成12年版高齢社会白書』
- 2002「高齢社会対策大綱」エイジング総合研究センター『季刊エイジング』（第19巻4号）、52-53頁
- 総務庁統計局「人口推計月報」（1975～1999年）
- 総理府「国勢調査報告」（1950～1965年、1980年）
- 副田義也 1978「主体的な老年像を求めて」副田義也編集・解説『老年—性愛・労働・学習』（現代のエスプリ126号）至文堂

- 袖井孝子 1997.5 「戦後日本の女と老い」 歴史科学協議会編『歴史評論』(No. 565) 校倉書房、52-63 頁
- 2001 「女性と年金と社会保障制度」 エイジング総合研究センター『季刊エイジング』(第19巻1号)、32-35 頁
- 袖井孝子・宮崎英子 1981 「老年期の家族危機—老人と家族のストレス—」 副田義也編『講座老年社会学II 老後問題論』 垣内出版、427-465 頁
- 染谷椒子 2000 『シリーズ<家族はいま…> 老いと家族：変貌する高齢者と家族』 ミネルヴァ書房
- 高山憲之 1981 「厚生年金における世代間の再分配」 『季刊現代経済』 SUMMER 日本経済新聞社、114-125 頁
- 竹内啓 1991 『『近代化』と人口』 東京大学社会科学研究所『現代日本社会 第1巻問題と視角』 東京大学出版会、297-349 頁
- 田中宏 1995 『在日外国人新版』 岩波書店
- 1996 『『参政権』問題の現在』 『RAIK 通信』(第45号)、10-14 頁
- 辻正二 2000 『高齢者ラベリングの社会学』 恒星社
- 都村敦子 1985 「女性と社会保障」 社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第20巻1号) 東京大学出版会、237-246 頁
- 津谷典子 1999 「出生率低下と子育て支援政策」 社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第34巻4号) 東京大学出版会、348-360 頁
- 寺澤恵美子 1997 「ポスト・フェミニズムの中の老い」 井上俊ほか編『岩波講座 現代社会学 13 成熟と老いの社会学』、95-118 頁
- 「東京新聞」(1995. 11. 25 付夕刊)
- 「東京新聞」(1995. 8. 06 付朝刊)
- 統計庁『韓国統計年鑑』(1977~1997 年版)
- 1995 「人口住宅総調査」
- 2000 『2000 韓国の社会指標』
- 内閣府 2001 『高齢者の生活と意識に関する国際比較調査結果の概要』
- 内閣府 2002 『高齢者の生活と意識 第5回国際比較調査結果報告書』
- 直井道子 1985 「中高年女性の経済状況からみた老後保障の問題点—未婚女性を中心に—」 社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第21巻3号) 東京大学出版会、226-236 頁
- 中川清 1986 「生活変動と福祉問題の拡がり」 『ジュリスト増刊総合特集 転換期の福祉問題』 有斐閣
- 中野洋恵 1994 「厚生白書、国民生活白書にみる家族機能の分析」 家族問題研究会『家族研究年報』(No. 19)、70-86 頁

- 那須宗一 1974「老人扶養研究の現代的意義」大原健士郎・三浦文夫編集・解説『老人問題』（現代のエスプリ第87号）至文堂、37-47頁。
- 那須宗一・湯沢擁彦 1973『老人扶養の研究』垣内出版
- 西岡八郎・財津芳昭 1996「家族とは何か—夕配偶女子からみた家族認識の範囲—」家族問題研究会『家族研究年報』（No. 21）、28-42頁
- 西成田豊 1997『在日朝鮮人の「世界」と「帝国」国家』東京大学出版会
- 丹羽文雄 1971「厭がらせの年齢」『丹羽文雄集 新潮日本文学28』新潮社、499-524頁
- 野々山久也 1999「家族研究における理論展開—総括と展望—」野々山久也・渡辺秀樹編著『家族社会学入門—理論と技法—』文化書房博文社、13-41頁
- 朴容福 1999「衆議院法務委員会（99.8.3）参考人証言」在日韓国人問題研究所『RAIK通信』（第61号、1999.10.15）、7-10頁
- 橋本宏子 1973、「老人福祉法による福祉の限界」『老人家族の社会学 老人扶養の研究』垣内出版、311-352頁
- 蓮見音彦 1997「日本社会の変動と福祉政策」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』（第32巻4号）東京大学出版会、455-462頁
- 八田達夫・木村陽子 1993「公的年金は、専業主婦世帯を優遇している」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』（第29巻3号）東京大学出版会、210-221頁
- 八田達夫・小口登良・酒本和加子 1998「年金改革と世代間再分配」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』（第34巻2号）東京大学出版会、155-164頁
- 馬場啓之助 1980「福祉社会の構図」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』（第15巻3号）東京大学出版会、5-13頁
- 浜口晴彦・嵯峨座晴夫編 1996『現代エイジング辞典』早稲田大学出版部
- 浜田淳 1999「国際高齢者年と日本の取り組み」エイジング総合研究センター『エイジング』（第16巻21号）、16-21頁
- 濱本知寿香 1992「公的年金の世代間格差に関する研究」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』（第27巻4号）東京大学出版会、431-441頁
- 早瀬圭一 1997『人はなぜボケるのか』新潮文庫
- 原千代子 1999「生活の状況」『川崎在日韓国・朝鮮人の生活と声』川崎在日韓国・朝鮮人の生活と声調査部『川崎在日韓国・朝鮮人の生活と声』青丘社、69-80頁
- 原ひろ子 1997「文化にとっての古い—新しい異世代共存—」井上俊ほか編『岩波講座 現代社会学 成熟と老いの社会学』、61-73頁
- 原田純孝 1988『日本型福祉社会』論の家族像 東京大学社会科学研究所編『転換期の福祉国家下』東京大学出版会、303-392頁
- 1992a「日本型福祉と家族政策」上野千鶴子ほか編『家族に侵入する社会—国家の中の

家族』岩波書店、39-61 頁

— 1992b 「高齢化社会と家族」東大社会科学研究所編『現代日本社会第 6 巻問題の諸相』東京大学出版会、81-146 頁

比較家族史研究会監修・利谷信義ほか編 1990『老いの比較家族史』三省堂

樋口恵子 1979『愛しきは老い—文学の中の老人老人たち』PHP 研究所

— ・山田昌弘 1997『『子ども大事』が未婚化・少子化を招く』エイジング総合研究センター『季刊エイジング』(第 15 巻 3 号)、32-37 頁。

— ・津谷典子 2001「少子・高齢社会とジェンダー・仕事と子育ての両立のための意識改革」エイジング総合研究センター『季刊エイジング』(第 19 巻 1 号)、18-25 頁。

平井富雄 1977.5「現代家庭を蝕むもの—管理社会と家庭」大原健士郎編『現代人の断絶 1 家族内の断絶』(現代のエスプリ別冊) 至文堂、61-76 頁

廣嶋清志 1999「結婚と出生の社会人口学」目黒依子・渡辺秀樹編『講座社会学 2 家族』東京大学出版会、21-57 頁

広瀬良誠 1964.9「老人ホームの今昔」全国社会福祉協議会『社会事業』、47-9 頁

福武直 1992「社会保障と社会保障論」社会保障研究所編『リーディングス日本の社会保障 I 総論』有斐閣、3-20 頁

福祉文化学会編 1995『高齢者生活年表 1925-1993』日本エディタースクール出版部

福島章 1977.5「現代の家族」大原健士郎編『現代人の断絶 1 家族内の断絶』(現代のエスプリ別冊) 至文堂、15-30 頁

布施昌子・玉水俊哲編 1982『現代の家族』青木書店

藤崎宏子 2000「家族はなぜ介護を囲い込むのか」副田義也ほか編『現代家族と家族製作』ミネルヴァ書房、141-161 頁

藤村正之 2001「高齢期における社会的不平等と社会的公正」『高齢期と社会的不平等』東京大学出版会、175-189 頁

ふれあい館 1993『だれもが力いっぱい生きていくために—川崎市ふれあい館 4 年間のあゆみ』青丘社

— 1998「トラヂの会 外国人高齢者福祉手当増額の要請行動' 98」(内部資料 1998. 12. 16)

— 1999a「トラヂの会 この一年の活動日誌」(内部資料 1999. 1. 23)

— 1999b「地域現場からの提案 在日の高齢者の豊かな老いのときを！」(高橋清川崎市長への要望書)

— 「ふれあい館だより」(119 号)

斐重度 1997. 6「川崎市外国人市民代表者会議発足まで」在日韓国人問題研究所『RAIK 通信』(第 49 号)、2-7 頁

法務省入管協会「在留外国人統計」1959~1999 年版

- 堀勝洋 1981「日本型福祉社会論」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第17巻1号) 東京大学出版会、37-50頁
- 1984「私的扶養に対する公的扶養としての社会保障の役割」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第20巻1号) 東京大学出版会、13-20頁
 - 1991「公的年金と世代間の公平」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第26巻4号) 東京大学出版会、401-417頁
 - 1997「社会保障の法的基盤」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第32巻4号) 東京大学出版会、463-472頁
- 毎日新聞社 2000「第25回家族計画世論調査の概要」『季刊エイジング』(第18巻3号)、60-63頁
- 牧園清子 1999『家族政策としての生活保護—生活保護制度における世帯分離の研究—』法律文化社
- 丸川賀世子 1993『有吉佐和子とわたし』文藝春秋
- 丸山桂 1994「女性の生涯所得からみた税制・年金制度」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第30巻3号) 東京大学出版会、274-292頁
- 三浦知人 1999「健康・生活不安・介護・福祉サービス」『川崎在日韓国・朝鮮人の生活と声』青丘社、81-98頁
- 三浦文夫 1974「老人問題の所在」大原健士郎・三浦文夫編集・解説『老人問題』(現代のエスプリ第87号) 至文堂、14-23頁
- 1982「高齢化社会の分析視角」『高齢化社会への道』中央法規出版
 - 1983『講座社会福祉8 高齢化社会と社会福祉』有斐閣
 - 1987「長寿社会のジレンマ」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第22巻4号)、324-325頁
- 宮坂靖子 1999「家族研究とジェンダー」野々山久也・渡辺秀樹編著『家族社会学入門—理論と技法—』文化書房博文社、69-91頁
- 宮沢健一 1995「21世紀の社会保障の思考軸—『体制』変動の中の制度デザイナー—」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第31巻1号) 東京大学出版会、5-17頁
- 宮里尚三 1998「世代間再分配政策と世代間負担」社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第34巻2号) 東京大学出版会、203-211頁
- 宮島洋 1992『高齢化時代の社会経済学—家族・企業・政府—』岩波書店
- 1996「『高齢社会対策大綱』をめぐって」エイジング総合研究センター『エイジング』(第14巻2号)、2-9頁
- 森幹郎 1982「解説」有吉佐和子『恍惚の人』新潮社
- 1988『老人問題』ミネルヴァ書房

- 森岡清美 1976 「変動する危機の現代家族」 社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第12巻1号) 東京大学出版会、15-24 頁
- 1981 「非家族的生活者の推移」 社会保障研究所編『季刊社会保障研究』(第16巻3号) 東京大学出版会、82-93 頁
- 森岡清美監修・望月嵩ほか 1983 『新しい家族社会学』 培風館
- 森田芳夫 1978a 「戦後における在日朝鮮人の人口現象」 朝鮮学会『朝鮮学報』(第47号)、31-76 頁
- 1978b 「戦前における在日朝鮮人の人口統計」 朝鮮学会『朝鮮学報』(第48号)、63-77 頁
- 1996 『数字が語る在日韓国・朝鮮人の歴史』 明石書店
- 山田貴夫 1998 「地方自治体の外国人住民政策—川崎市を事例として」(未刊行)
- 2000 「川崎市外国人市民代表者会議の成立現状」 宮島喬編『外国人市民と政治参加』 有信堂、39-57 頁
- 山折哲雄 1990 「オキナの思想」 『老いの比較家族史5』 三省堂、147-158 頁
- 山田昌弘 1992 「福祉とジェンダー」 家族問題研究会『家族研究年報』NO.17、2-14 頁
- 1994 『近代家族のゆくえ』 新曜社
- 1995.10 「男に高齢者介護は出来ない」 『諸君』 文藝春秋、192-199 頁
- 1999 『パラサイトシングル』 筑摩書房
- 湯沢雍彦 1973 「老人扶養問題の構造と転換」 『老人扶養の研究』 垣内出版、21-52 頁
- 編 1976 『日本婦人問題資料集成 第五巻家族制度 第六部家族制度復活論争』 ドメス出版
- 1977a 「家族問題の戦後史」 『ジュリスト増刊総合特集 現代の家族』 有斐閣、41-48 頁
- 1977b 「戦後日本家族問題年表」 『ジュリスト増刊総合特集 現代の家族』 有斐閣、384-390 頁
- 1977c 「戦後家族変動の統計的考察」 『家族-政策と法第3巻 戦後日本家族の動向』 東京大学出版会、9-59 頁
- 1977d 「老人問題と老親扶養の動向」 『家族-政策と法第3巻 戦後日本家族の動向』 東京大学出版会、169-195 頁
- 吉岡増雄 1995 『在日外国人と社会保障』 社会評論社
- 吉川洋 2000 「寿命と経済—高齢化と経済の関連」 エイジング総合研究センター『季刊エイジング』(20-1)、48-53 頁
- 吉田久一 1993 『改訂版日本貧困史』(吉田久一著作集2) 川島書店
- 吉開那津子 1995.10 「いま、『老い』を描くということ」 日本民主主義文学同盟編『民主文学』(通巻409号)、126-131 頁